

競争力強化を目的とした生産体制の再整備について

当社グループは、2024年中期経営計画に掲げる競争力強化に向け、生産体制の再整備（需要動向等を踏まえた供給体制の最適化）を進めております。

この一環として、コンクリートポール・パイルや建築材料向けプレキャストコンクリート製品の需要動向を踏まえ、現在下記の通り工場の休止および事業転換・集約等に取り組んでおりますのでお知らせいたします。

記

・笠岡工場（NC 貝原パイル製造株式会社）

コンクリートパイル需要の低迷・大径化の動向等、市場環境の変化を踏まえ、当社グループにおける現行のパイル製造拠点・供給体制を見直した結果、笠岡工場の生産を休止し、同工場が製造しているパイル品種を別工場に生産振替・集約化することで、グループ全体での生産体制の最適化を図ることといたしました。

同工場は2025年9月末をもって操業を休止しており、今後は物流拠点・製品置場等として活用してまいります。

・高砂工場（NC 西日本パイル製造株式会社）

今後のコンクリートパイル（小径）およびコンクリートポールの需要動向と比較して、建築材料向けプレキャストコンクリート製品需要が増加傾向であることを鑑みて、コンクリートポール・パイルの製造からプレキャストコンクリート製品の製造に事業転換することといたしました。2025年度上半期中にコンクリートポール・パイルの生産は停止し、現在はプレキャスト製品製造のための改造投資を行っております。プレキャスト製品の生産開始は2026年度上半期中を予定しております。

・川島工場（NC 東日本コンクリート工業株式会社）

顧客ニーズが長尺ポールから継ポールに大きく変化する状況下において、川島工場における複数のコンクリートポール製造ラインを集約することで生産最適化を目指しております。

なお、上記生産体制変更に係る投資については、事業収益に加え政策保有株式の売却により得られた資金等を活用してまいります。また、今後もパイル需要動向に沿った大径パイル生産体制の整備、更なる生産拠点の集約と活用による効率化の推進に加え、生産性向上による製造原価低減、技術開発および新たな商品への取り組みを加速させることにより、利益を回復させてまいります。

※各工場の所在地・事業内容等につきましては、当社ホームページをご覧ください。

<https://www.ncic.co.jp/company/division.html>